

申…申し込み先 問…問い合わせ先 ヲ…ヴィーブル内
ホームページの二次元コードが掲載された記事の詳しい情報は、ホームページをご確認ください。

この街をおもしろくする アイデア超会議 『第5回クマコンin合志』

地域の「やってみたい」をテーマに、みんなで自由にアイデアを出し合うイベントです。アイデアを出して終わりではありません。そこで生まれたアイデアや人との繋がりから実際にイベントや活動が動き出すこともあります。

今回のテーマは『合志市でナイトシネマを開催!』。そんなイベントを企画してみたい人、初めての人も大歓迎です。気軽に「ご参加ください」。

▼とき 10月24日(土)
午後1時30分～3時30分
(午後1時開場)

▼ところ

市役所防災センター棟 避難所1
定員 100人

参加費 無料

▼申込方法

申し込みフォーム

地域おこし協力隊 内田

080(3966)9001



▲申し込みフォーム



ジョブヤ

職業訓練コースのご案内

職業訓練は、求職者が職業訓練によるスキルアップを通じて、早期就職を実現するために、国が支援する制度です。受講料は無料ですが、教科書代などが必要です。

一定の条件を満たすと、雇用保険などを受給しながら職業訓練を受けることができます。

▼ところ

ポリテクセンター熊本
(須屋250513)

▼実施期間・訓練科目

12月1日(火)～令和9年6月29日(火)

クラフト溶接科

電気設備サービ斯科

生産ラインメンテナンス科

住宅リフォーム科

ビル設備サービ斯科

▼募集期間

10月1日(木)～29日(木)

申請ハローワーク菊池 訓練担当

0968(24)8625

人権よもやま話

地域の人権相談パートナー



人権擁護委員
恵濃 裕司さん

外国人労働者数が毎年過去最多を更新しています。少子高齢化を背景に労働者不足が深刻化し、外国人労働力に依存している日本経済の実情が浮き彫りとなっています。本市でも半導体製造業などの進出により850人程の外国人居住者が存在し、見かける機会も増えてきました。そのような中、国は外国人と秩序ある共生を掲げ、受け入れの厳格化を進めています。共生については、さまざまな考え・意見があることは理解していますが、今や外国人居住者は労働力だけでなく、今後ますます膨らんでいく社会保障費の担い手にもなっています。国は受け入れの厳格化を推進していくのであれば、多文化共生の施策として日本社会に貢献できるよう、外国人の目線に立った情報発信、生活支援、日本語教育支援策などに舵を取るべきであらうと考えます。



●問い合わせ先
人権啓発教育課 啓発教育班
096(248)2399

そのような状況の中で、昨今、外国人であることを理由とした就職差別、アパートなどへの入居拒否など人権問題が発生しています。併せてわが国でも「〇〇ファースト」という言葉をよく耳にするようになりました。自分の国や自分の所属団体などを第一に考えることに異論はありませんが、だからと言って相手を排除したり、誹謗中傷をしたりしてはならないと思っています。

また、ナショナルリズムを声高に叫ぶ人もいますが、世の中、国境を越えて人と人がつながっていく時代です。いわゆるナショナルリズムかグローバルリズムが問われた場合、私たちは偏った意識にとらわれることなく、差別や排外主義をなくしていくグローバルリズムを推進していかねければならないと考えます。経済の維持と共生社会をどう実現していくか大きなテーマですが、私たちの意識として日本人に生まれてきてよかったではなく、日本という国に生まれてきてよかったと言えるような社会、国にしていかななくてはならないと強く思っています。

自衛官募集

詳しくは自衛官募集ホームページをご覧ください▶



申問 自衛隊熊本地方協力本部 菊池分駐所 0968-24-2772

募集種目		受付期間	試験日	合格発表	受験資格
陸上自衛隊高等工科学校生徒	推薦	10月1日(木)～11月27日(金)	令和9年1月9日(土)～11日(月・祝) ※どれか1日を指定します	令和9年1月22日(金)	男子で中卒(見込含)17歳未満の、成績優秀で生徒会活動などに顕著な実績を修め、学校長が推薦できる人
	一般	10月1日(木)～令和9年1月14日(木)	1次 令和9年1月23日(土)～24日(日) 2次 令和9年2月11日(木・祝)～14日(日) ※どれか1日を指定します	1次 令和9年2月5日(金) 最終 令和9年2月26日(金)	男子で中卒(見込含)17歳未満の人
自衛隊奨学生		11月30日(月)～令和9年1月29日(金)	令和9年2月20日(土)	令和9年5月14日(金)	大学、大学院、高等専門学校などで理学、工学、文学または法学(※)を専攻し、正規の課程を修了する年の4月1日現在で26歳未満の人(大学院在学者は28歳未満)

※学部は、理学部、工学部、文学部または法学に類する学部・学科も応募資格に該当する場合がありますので、詳しくは問い合わせ先にご連絡ください

第86回 こうし歴史発見

問い合わせ先
生涯学習課 生涯学習班
096(248)5555

合志市の地名の由来シリーズ

第8回 『野々島』

弁天山を含む地域の小字名である野々島。その由来について『日本地名大辞典』43熊本編には、肥後国誌という文書を基に「地内の弁天山が内陸の島のような形をしていることにちなむ」と記されています。

また、『西合志町史編纂資料集』第一集では、野々島にまつわる伝説が紹介されています。それによると、聖徳太子の時代に5つの池を掘ったところ、大池村(現在の『大池』)の池から出た土が一夜のうちに積み上がって島のような山となり、これが現在の弁天山になったと伝えられています。山はたいへん高く、「白雲が腰を巡るほどであった」と表現されています。

さらに、かつて野々島は『鳥の巣』と呼ばれていたと記されています。現在の野々島東部(西合志中央小の南側)にある一子山には大きな榎の木が生い茂り、多くの鳥たちが住み

ついていたとしていて、さまざまな種類の鳥が集まる様子から、この地域は『鳥の巣』と呼ばれるようになったと伝えられています。地名には、その土地の地形や自然、そして人々が語り継いできた伝説が息づいています。野々島という名前にも、地域の歴史や昔の人々の暮らしを感じることができます。



▲鳥の巣イメージ
『合志のむかし話』(野口チカ子)より



▲弁天山